



## 赤ちゃんのきこえの検査 (新生児聴覚スクリーニング検査) について

当院では、赤ちゃんのきこえの障害を早期に発見するために、新生児聴覚スクリーニング検査を行っています。検査を受けられることはお勧めしていますが、希望されるかは保護者の自由な判断となります。

### Q. なぜ検査が必要なの？

生まれてくる赤ちゃんのうち、1,000 人に 1~2 人が生まれつき耳のきこえに障がいを持つといわれていて、他の生まれつきの疾患に比べ多くなっています。また、きこえの障がいは「見えない」ため、2~3 歳になって「ことばの遅れ」などで、初めて気づくこともあります。

しかし、きこえに障がいがある場合には、早く発見し、適切な治療や支援がなされることで、ことばの発達を促し、情緒や社会性を育てることができます。

### Q. どんな検査なの？

当院では、自動聴性脳幹反応による検査 (AABR) を行っています。

この検査は、赤ちゃんがぐっすり眠っている状態で小さい音を聞かせて、その時の脳から出る反応波形を測定し、耳のきこえが正常な波形と比較することにより、自動的に判定する検査です。眠っている間に検査は数分間で終わり、痛みや副作用もありませんし、お薬を使用することはありません。

### Q. 検査の結果は？

検査結果は、「パス (pass)」または「リファー (refer)」のいずれかで、入院中に分かります。

「パス」の場合は、今のところ耳のきこえに問題ないといえます。ただし、進行性の難聴や中耳炎などにより一時的に難聴になることもあり、成長・発達の中で、きこえに不安がある時には医療機関に相談することが必要です。

「リファー」の場合は、今回の検査ではうまく判定ができないという意味で、詳しい検査を受けていただきます。新生児の場合、きこえが正常であっても、耳の中に体液が残っていたり、検査時の体動や啼泣のために「パス」しないことがあり、「リファー」は必ずしもきこえに障がいがあることを意味していません。

### Q. 検査の費用は？

市町村によって公費負担があります。お住まいの市町村へお問い合わせください。

ご不明な点がございましたら、担当医や看護師・助産師又は地域の保健師にお尋ねください。





## 赤ちゃんのきこえの検査 (新生児聴覚スクリーニング検査) について

当院では、赤ちゃんのきこえの障害を早期に発見するために、新生児聴覚スクリーニング検査を行っています。検査を受けられることはお勧めしていますが、希望されるかは保護者の自由な判断となります。

### Q. なぜ検査が必要なの？

生まれてくる赤ちゃんのうち、1,000 人に 1~2 人が生まれつき耳のきこえに障がいを持つといわれていて、他の生まれつきの疾患に比べ多くなっています。また、きこえの障がいは「見えない」ため、2~3 歳になって「ことばの遅れ」などで、初めて気づくこともあります。

しかし、きこえに障がいがある場合には、早く発見し、適切な治療や支援がなされることで、ことばの発達を促し、情緒や社会性を育てることができます。

### Q. どんな検査なの？

当院では、耳音響放射による検査 (OAE) を行っています。

この検査は、赤ちゃんがぐっすり眠っている状態で、耳に入れた小さいスピーカーから刺激音を聞かせ、音がきこえた時に耳の中から反射してくる小さい音を記録する検査で、自動的に判定する検査です。眠っている間に検査は数分間で終わり、痛みや副作用もありませんし、お薬を使用することはありません。

### Q. 検査の結果は？

検査結果は、「パス (pass)」または「リファー (refer)」のいずれかで、入院中に分かります。

「パス」の場合は、今のところ耳のきこえに問題ないといえます。ただし、進行性の難聴や中耳炎などにより一時的に難聴になることもあり、成長・発達の中で、きこえに不安がある時には医療機関に相談することが必要です。

「リファー」の場合は、今回の検査ではうまく判定ができないという意味で、詳しい検査を受けていただきます。新生児の場合、きこえが正常であっても、耳の中に体液が残っていたり、検査時の体動や啼泣のために「パス」しないことがあり、「リファー」は必ずしもきこえに障がいがあることを意味していません。

### Q. 検査の費用は？

市町村によって公費負担があります。お住まいの市町村へお問い合わせください。

ご不明な点がございましたら、担当医や看護師・助産師又は地域の保健師にお尋ねください。





## 新生児聴覚スクリーニング検査結果の 関連機関および市町村などへの連絡について



### 1. 関連機関への連絡について

今回 行う新生児聴覚スクリーニング検査が「リファー」の場合は、下記の関連機関（琉球大学病院 きこえの支援センター）へ報告します。

きこえの支援センターでは、新生児聴覚スクリーニング検査を実施した機関より報告を受けると、精密検査機関へ連絡をとり、診察日・検査日程を調整します。検査日程を調整することで、精密検査までスムーズに行う事ができます。

また、きこえの支援センターでは、年に1度 年間の検査件数と精密検査結果を報告し、沖縄県における新生児聴覚スクリーニング検査の実態を確認しています。そのため、今回の検査結果、精密検査の検査結果などの情報を収集しています。

**【連絡先】** 琉球大学病院 きこえの支援センター（琉球大学病院 耳鼻咽喉科内）  
医師：鈴木幹男 言語聴覚士：兼本怜子・与座要  
住所：西原町字上原 207 番地 TEL / FAX : 098-895-1739  
ホームページ : <https://kikoe.skr.u-ryukyu.ac.jp>

### 2. 市町村への連絡について

今回 行う新生児聴覚スクリーニング検査が「リファー」の場合は、きこえの支援センターを通して、お住いの市町村の母子保健担当課へ報告します。

お住いの市町村では保健師が、赤ちゃんの健康や子育ての悩み全般について相談をお受けしていますので、結果を市町村の母子保健担当課に連絡することにより、お住いの地域における育児支援サービスや医療費などの公費負担制度について、スムーズに情報を得られるようになります。

### 3. 個人情報について

検査結果などの個人情報は、精密検査日の調整やお子さんご家族への支援以外の目的には使用されません。お子さまのプライバシーを守ることにしても、十分に注意を払いますので、検査結果などについて、関連機関およびお住いの市町村の母子保健担当課に連絡することに同意をお願いします。

## 新生児聴覚スクリーニング検査 同意書兼申込書

検査について、次のいずれかの口に✓を入れ、下欄に必要事項を記入してください

私は、新生児聴覚スクリーニング検査の必要性や注意事項などについて説明を受けました。

また、検査結果などの個人情報を、聞こえの評価（詳しい聴力検査を実施できる施設への紹介、検査の精度管理など）および、お子さまとご家族の支援のために下記の関係機関（琉球大学病院 きこえの支援センター）へ提供することについての説明を受けました。

- 新生児聴覚スクリーニング検査を受けることを希望し、検査の実施を申し込むとともに、検査結果を関係機関および市町村へ通知することを同意します。

【連絡先】 琉球大学病院 きこえの支援センター（琉球大学病院 耳鼻咽喉科内）  
医師：鈴木幹男 言語聴覚士：兼本怜子・与座要  
住所：西原町字上原 207 番地 TEL / FAX : 098-895-1739  
ホームページ：https://kikoe.skr.u-ryukyu.ac.jp

- 新生児聴覚スクリーニング検査を受けることを希望し、検査の実施を申し込みたいですが、検査結果を関係機関および市町村へ通知することは希望しません。

- 新生児聴覚スクリーニング検査を受けることを希望しません。

記入日	年 月 日		
ふりがな 保護者氏名		赤ちゃんとの 続柄	
ふりがな 赤ちゃんの名前	(決まっていれば)		
生年月日	年 月 日		
現住所			
保護者住所	(里帰り出産などで現住所と異なる場合)		
電話番号			

※ 同意書兼申込書は各施設で保管して下さい。